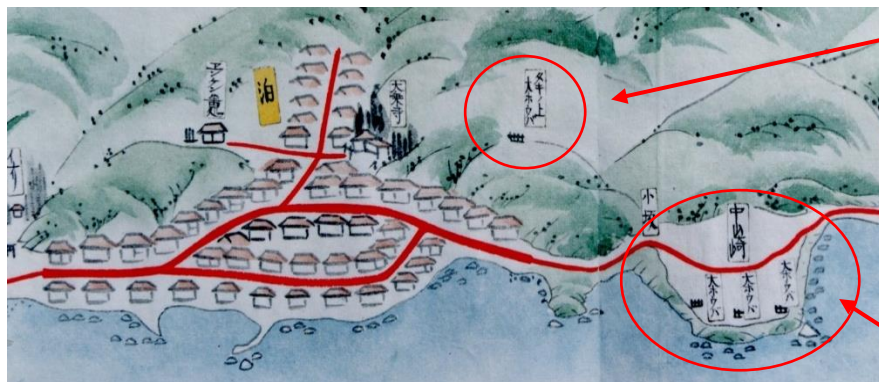




行くぞ！中山崎大砲場！

4月15日（土）に予定しているふるさと歴史散歩事業「中山崎大砲場ツアー」では、泊地区中山崎において、江戸時代の盛岡藩が築いた大砲場跡3カ所を見ることができる。北手方の大砲場は、現在、平地になっていて、当時の土塁などは見ることができないが、焼山港や船の航行の目印となった月山（泊山）、下北半島東通村尻方面を見ることができる。中程の大砲場には、江戸時代末期の絵図の通り土塁が残っていた。そこには、やはり見晴らしがよかったのか、現在では、密漁防止の監視塔（レーダー）が立っている。南手の大砲場は、三浦さんの畑となっていて、その形が絵図に描かれている大砲場の敷地の形と重なる。大砲場からは、広々とした太平洋の荒海と泊村、館の上大砲場跡（遠見番所跡）の丘を眺めることができる。

※ツアー後半のフノリ採りも楽しみである。



泊村と中山崎・館上大砲場「北奥道中図」村史

館上大砲場（遠見番所跡）

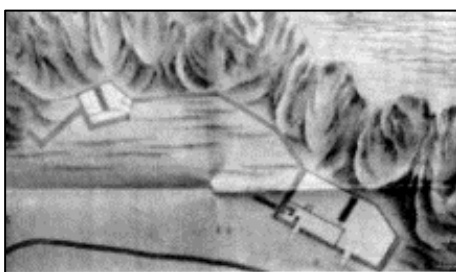


南手大砲場からの眺め

中山崎大砲場
（南手・中程・北手方）



北手方の大砲場跡



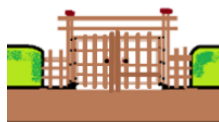
「北郡泊村中山崎大砲場測量の図」村史上巻Ⅱより引用



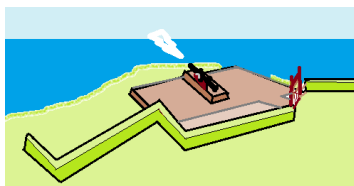
中程大砲場の土塁



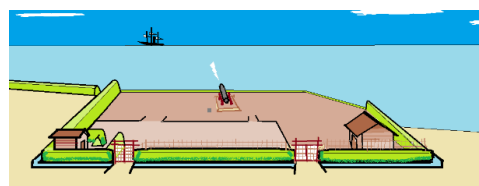
壱貫目木砲の想像図



柵折曲りの想像図



中程大砲場想像図



南手大砲場の想像図